

平成 24 年度 脳卒中地域連携施設研修会報告

さる 11 月 15 日 16 日の 2 日間、平成 24 年度第 2 回島原脳卒中地域連携施設（急性期・回復期・維持期）研修会を行いました。参加者 16 名（1 日目 9 名、2 日目 13 名 計 16 名）

今回も参加者に好評で、「とても勉強になった。衝撃を受けた。」などの意見がありました。急性期の研修内容には少し課題が残りましたが、「今後も継続して欲しい」との意見で研修会が終了致しました。

アンケートの結果も添付しております。



研修 1 日目当院の田中師長より病棟概要の説明。



徳永センター長を囲んでランチョンミーティング。皆さんより感想や質問がありました。



急性期における脳卒中患者の看護の取り組みの実際を見学。今回初めて模型を使用し、吸引方法の説明をしました。



2 日目の松岡病院内見学。12 名の参加がありました



寺田リハ部長より個別入浴機の説明を受けました。初めて見る機械に、驚きました。



寺田リハ部長より、回復期病棟での取り組みの説明。病院というより「生活の場」との印象でした。



柴田長庚堂病院の意見交換会。柴田長庚堂病院院長先生の挨拶。



グループホーム長庚堂で川田施設長に取り組みを学ぶ。とても明るい光が差し込んでおりました。



2 日目のろうけん長庚堂（アプリコット）前での撮影。スタッフと研修生 13 名。